



おつひ

半田市立乙川東小学校

第6号

令和3年9月1日

発行責任者：福島 富美



校訓 たくましく 心ゆたかに 大きくのびよう

自分で考えて行動する



2学期が始まりました。本来ならば、日焼けした元気な子どもたちを前に、夏休みの思い出を語りながら、2学期に向けての目標を話し、大きな声の校歌を体育館に響かせるはずの始業式。けれども、2021年の2学期は、緊急事態宣言の中で始まることとなりました。学校として、これまでもさまざまな対策を行ってきましたが、子どもたちに感染が広がり始めた現在、学校も今までにない緊張感の中での始まりです。「3密状態を避ける」「マスクの着用」「手洗い・消毒」をさらに強化するにあたり、職員全員で確認したことがあります。それは、私たち大人が考えた対策を一方的にやらせようとするのではなく、子どもたち一人一人が「どうしてそうするのか」「どうしてしてはいけないのか」と考えて行動できるようにしていくということです。これは、今後子どもたちが生きていくためにとても必要な力です。新型コロナウイルスの流行はまさに禍（わざわい）なのですが、それを自分で考えて行動するという力を育てる糧としていきたいと思います。子どもたちにも始業式で話しました。

【2学期始業式 校長の話より一部抜粋】

(前略)

では、このまま学校中の子どもたちが病気になってしまうのでしょうか。そんなことはありません。私たち人間は、自分や周りの人たちのために良い方法を考えて行動する力を持っているからです。一人一人が本気で病気にならないために行動をすれば、病気はだんだん少なくなっていくと思います。

(中略)

他にも良い方法があったら、どんどんやってみて、みんなに教えてあげてください。乙川東小では、病気をはやらせるのではなく、病気にならない方法を自分で考えてはやらせたいと思っています。みんなで本気を出しましょう。

それぞれのご家庭でも、ぜひ、感染症対策について子どもと一緒に考えてみてください。みんなの健康を守るために考え、学校も家庭も連絡を取り合い相談しながら、できることをやっていきましょう。